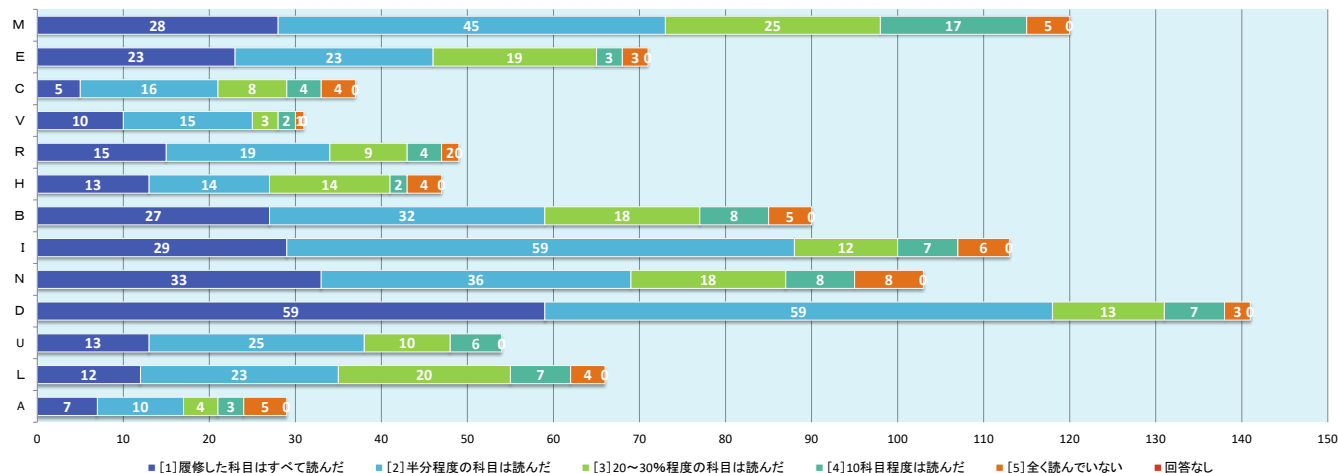
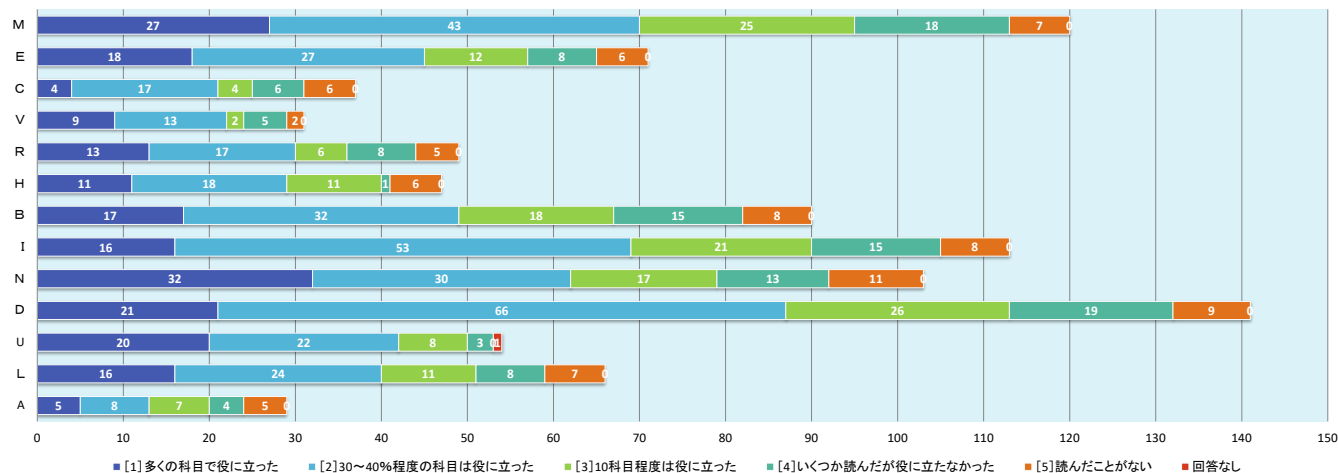


## 2022年度 卒業時アンケート集計結果

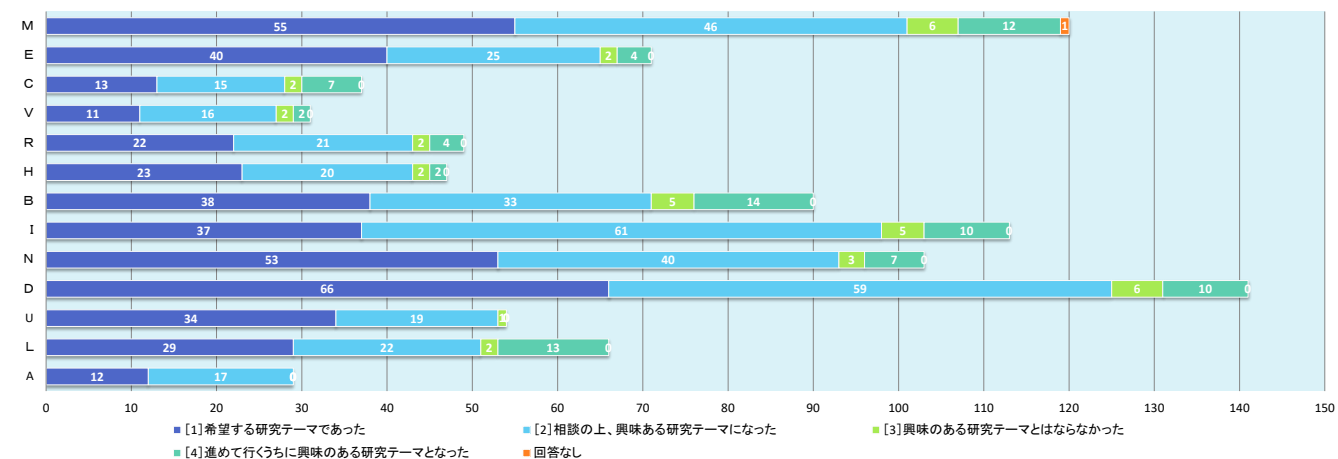
1. シラバスの活用に関してお聞きします。



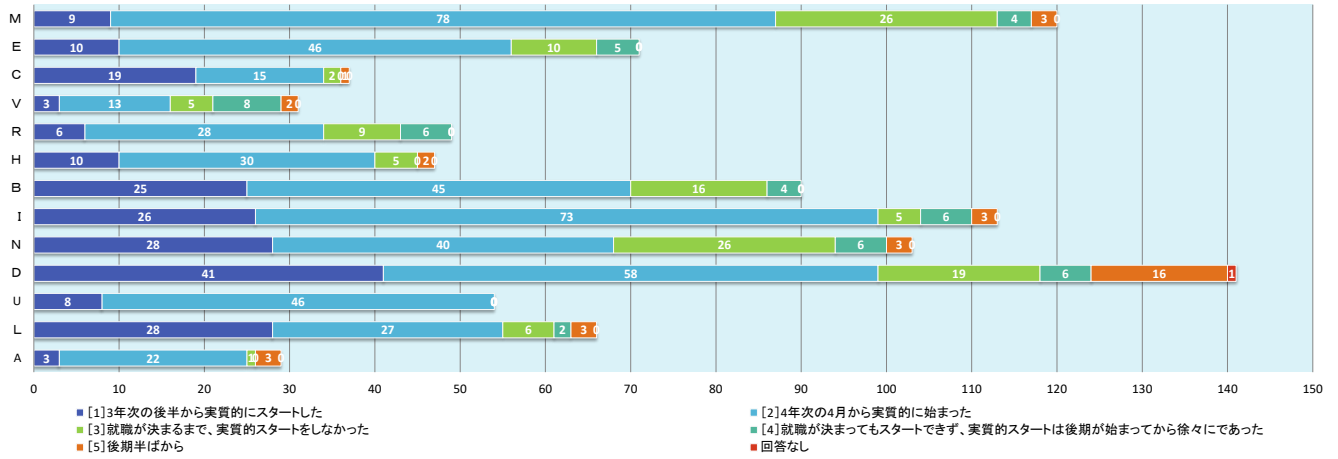
2. シラバスに記載の事前学修、事後学修についてお聞きします。



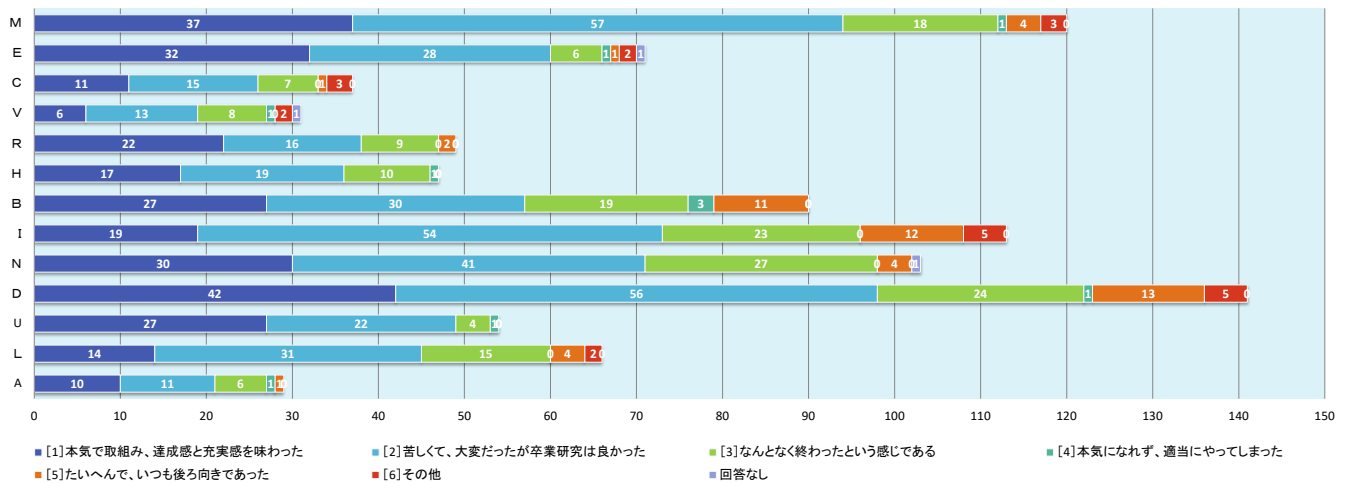
3. 卒業研究のテーマに関してお聞きします。



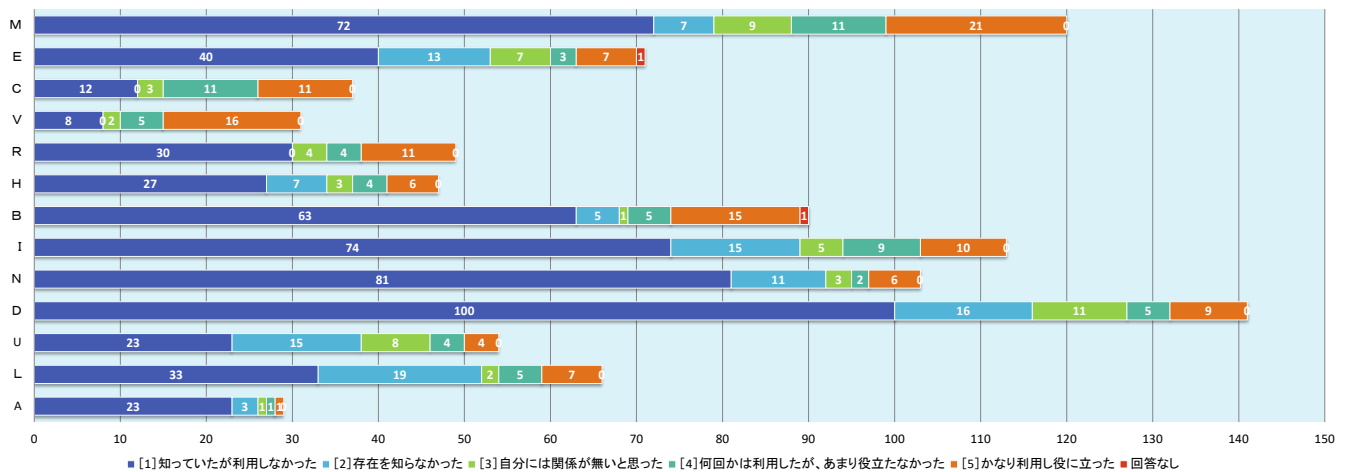
4.卒業研究に充てた期間についてお聞きします。



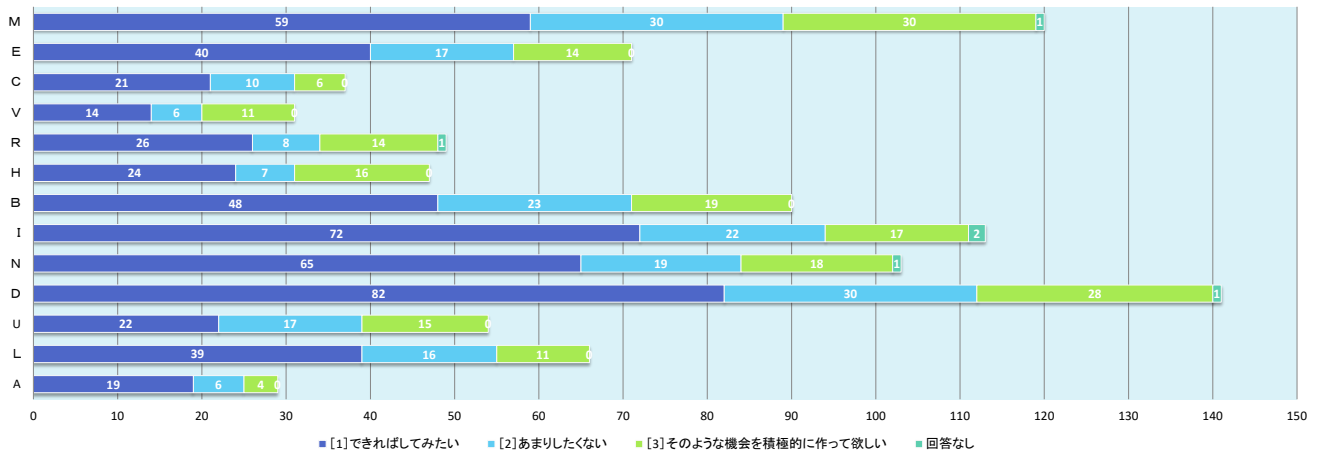
5.卒業研究の取組みで、自分に該当すると思われるものを一つ選んでください。



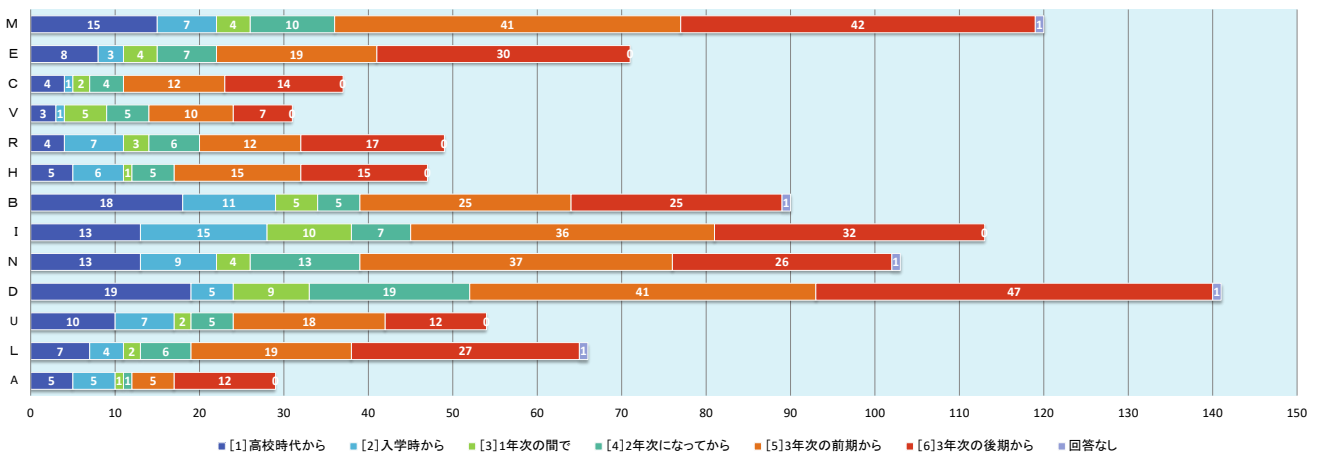
6.基礎教育支援センターの活用についてお聞きします。



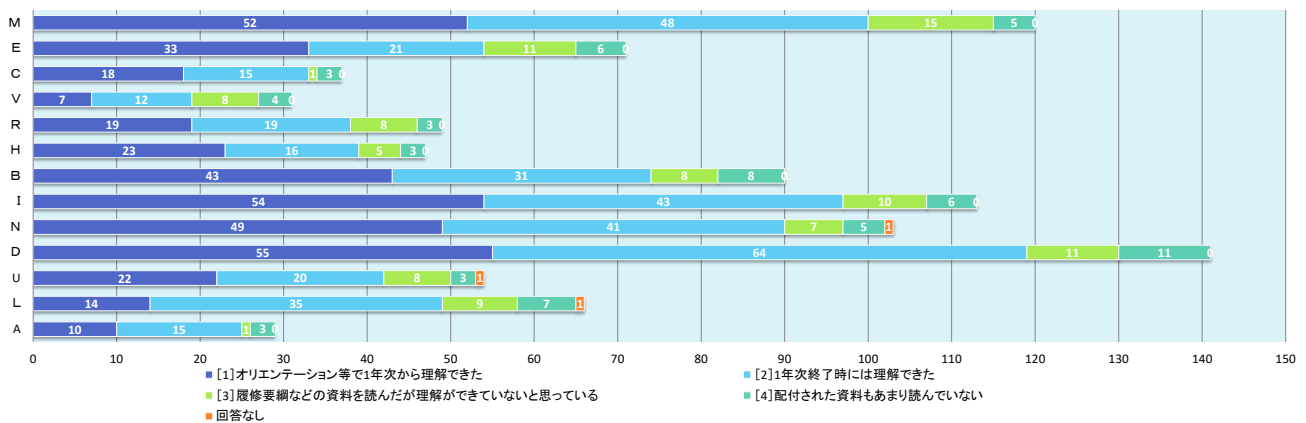
7.部活動以外での他学科学学生との交流についてお聞きします。



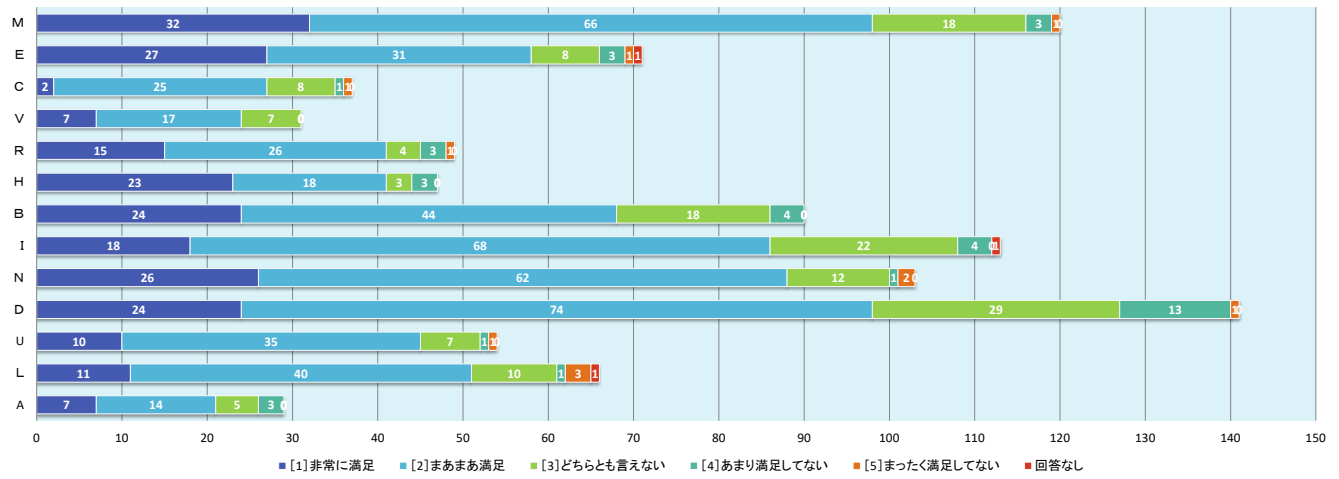
8.就職、大学院進学等の進路を意識し始めたのはいつごろからですか。



9.大学の教育課程の理解についてお聞きします。



10.卒業するにあたって、総合的にみて、本学での満足度についてお聞きます。



## 2022年度 卒業アンケート提出率

	2021年度			2022年度		
	2022年3月 卒業者数	アンケート提出者数	提出率	2023年3月 卒業者数	アンケート提出者数	提出率
M	93	81	87.1%	126	120	95.2%
E	80	53	66.3%	89	71	79.8%
C	55	51	92.7%	38	37	97.4%
V	46	44	95.7%	33	31	93.9%
R	45	28	62.2%	58	49	84.5%
H	38	34	89.5%	49	47	95.9%
B	113	100	88.5%	105	90	85.7%
I	130	106	81.5%	137	113	82.5%
N	91	82	90.1%	107	103	96.3%
D	141	107	75.9%	147	141	95.9%
U	71	71	100.0%	54	54	100.0%
L	77	75	97.4%	66	66	100.0%
A	17	17	100.0%	31	29	93.5%
合計	997	849	85.2%	1,040	951	91.4%

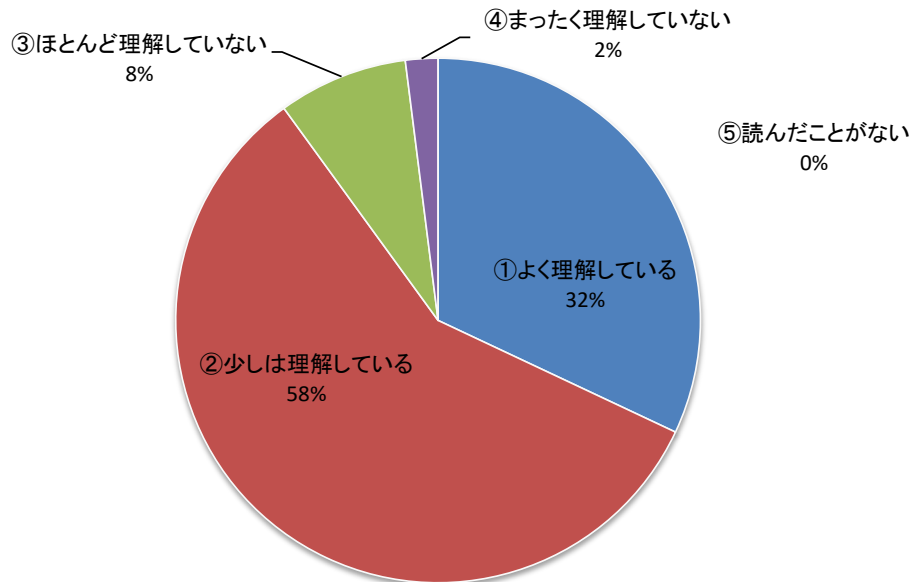
2021年度（判定資料2.27最終判定を使用）

2022年度（判定資料2.24最終判定・追加卒業予定を使用）

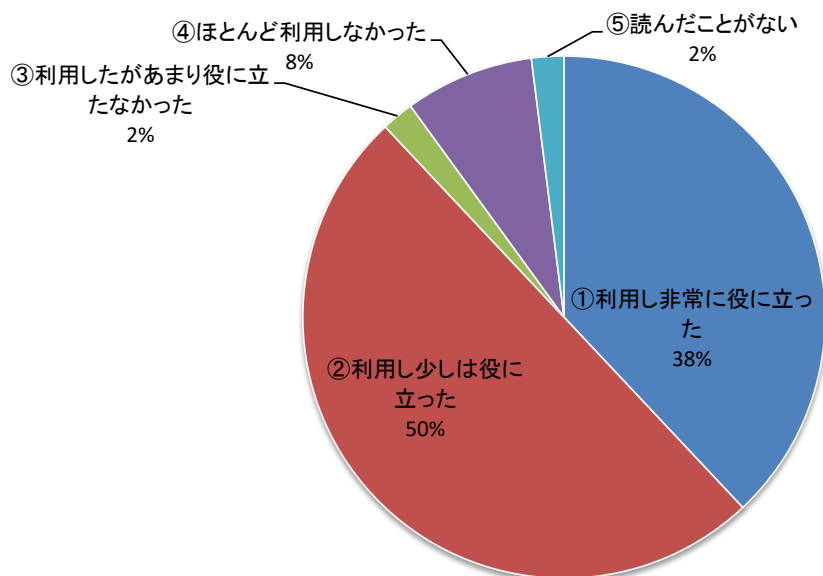
## 2022年度 大学院修了時アンケートまとめ

回答人数：機械工学5名/5名中、電気電子工学18名/18名中、応用化学・バイオサイエンス名4名/7名中、  
 機械システム工学名6名/6名中、情報工学名14名/14名中、ロボット・メカトロニクスシステム3名/3名中  
 ※I専攻：論文不合格者1名を含む 計 50名/53名中

本学大学院またはあなたが所属する専攻の 人材養成の目的や教育方針を理解していますか	回答数 (人)	%
①よく理解している	16	32%
②少しは理解している	29	58%
③ほとんど理解していない	4	8%
④まったく理解していない	1	2%
⑤読んだことがない	0	0%



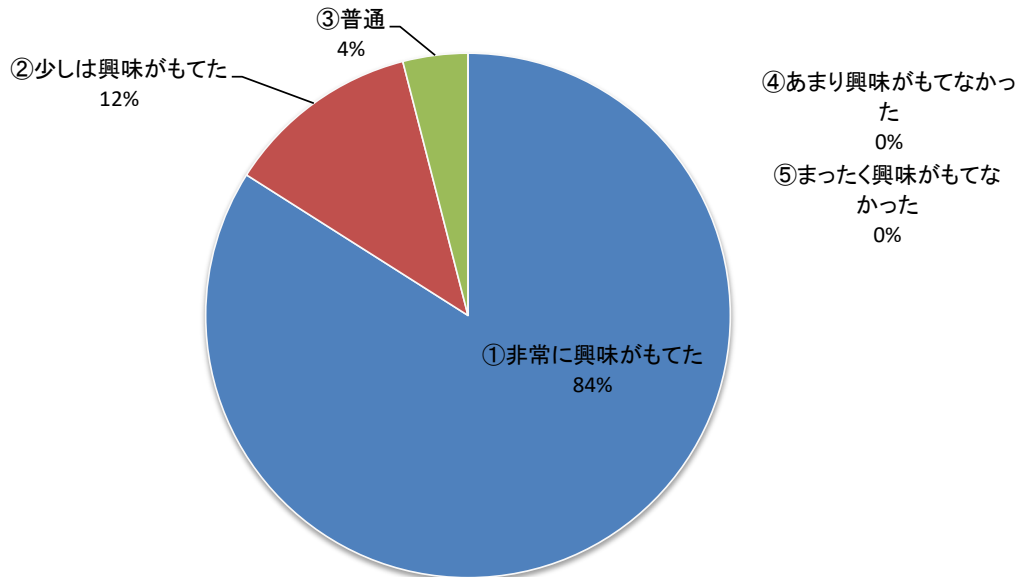
授業を受けるにあたってシラバスを利用しましたか	回答数 (人)	%
①利用し非常に役に立った	19	38%
②利用し少しは役に立った	25	50%
③利用したがあまり役に立たなかった	1	2%
④ほとんど利用しなかった	4	8%
⑤読んだことがない	1	2%



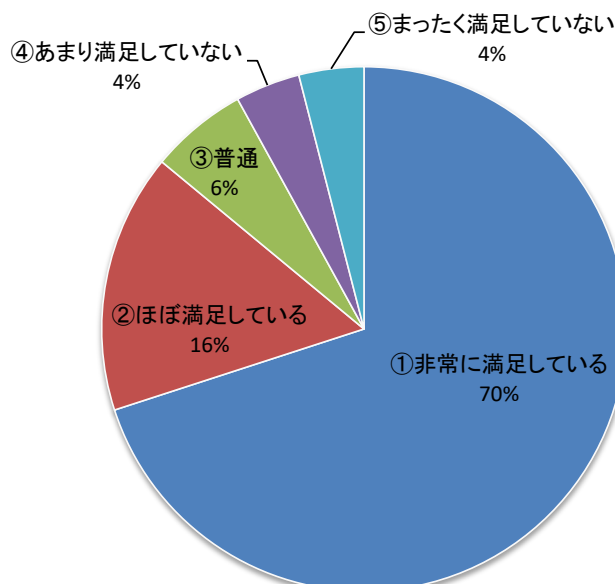
## 2022年度 大学院修了時アンケートまとめ

回答人数：機械工学5名/5名中、電気電子工学18名/18名中、応用化学・バイオサイエンス名4名/7名中、  
 機械システム工学名6名/6名中、情報工学名14名/14名中、ロボット・メカトロニクスシステム3名/3名中  
 ※I専攻：論文不合格者1名分含む 計 50名/53名中

修士論文の研究内容に興味がありましたか	回答数 (人)	%
①非常に興味をもてた	42	84%
②少しは興味をもてた	6	12%
③普通	2	4%
④あまり興味をもてなかった	0	0%
⑤まったく興味をもてなかった	0	0%



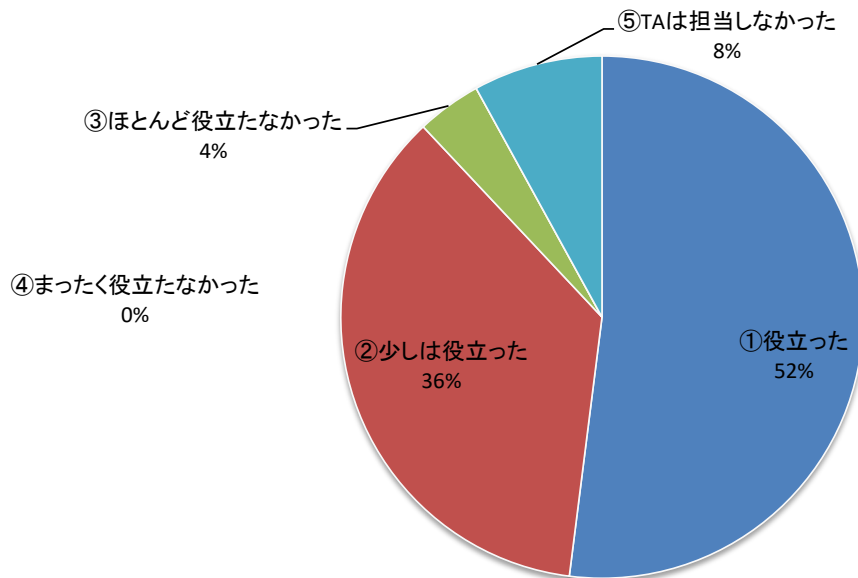
指導教員の研究指導方法について満足していますか	回答数 (人)	%
①非常に満足している	35	70%
②ほぼ満足している	8	16%
③普通	3	6%
④あまり満足していない	2	4%
⑤まったく満足していない	2	4%



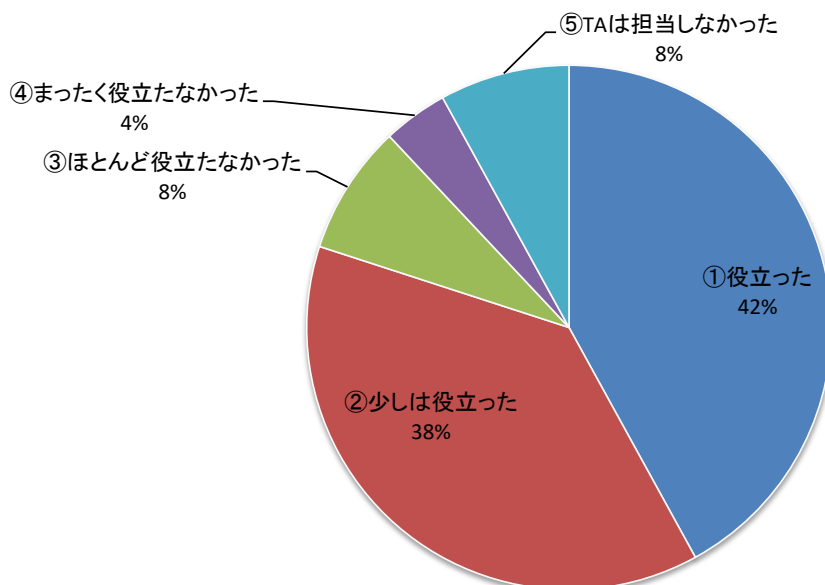
## 2022年度 大学院修了時アンケートまとめ

回答人数：機械工学5名/5名中、電気電子工学18名/18名中、応用化学・バイオサイエンス4名/7名中、  
 機械システム工学6名/6名中、情報工学14名/14名中、ロボット・メカトロニクスシステム3名/3名中  
 ※I専攻：論文不合格者1名を含む 計 50名/53名中

ティーチングアシスタント(TA)制度はあなたにとって教育的観点から役立ったと思いますか	回答数 (人)	%
①役立った	26	52%
②少しは役立った	18	36%
③ほとんど役立たなかった	2	4%
④まったく役立たなかった	0	0%
⑤TAは担当しなかった	4	8%



ティーチングアシスタント(TA)制度はあなたにとって経済的観点から役立ったと思いますか	回答数 (人)	%
①役立った	21	42%
②少しは役立った	19	38%
③ほとんど役立たなかった	4	8%
④まったく役立たなかった	2	4%
⑤TAは担当しなかった	4	8%

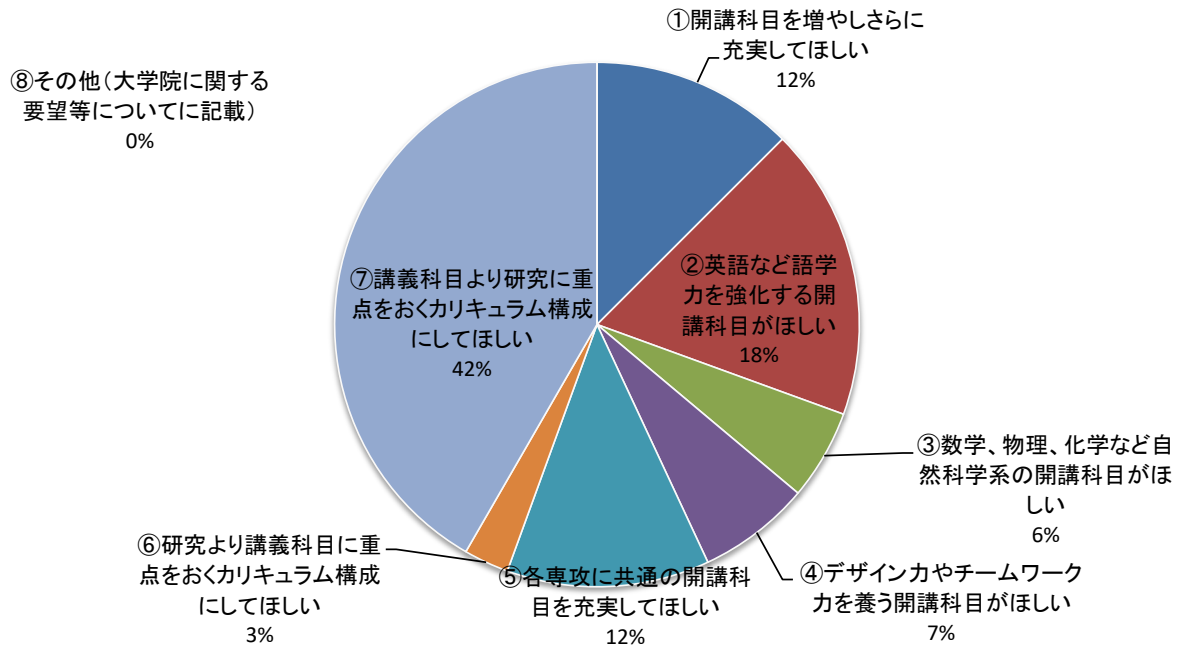




## 2022年度 大学院修了時アンケートまとめ

回答人数：機械工学5名/5名中、電気電子工学18名/18名中、応用化学・バイオサイエンス名4名/7名中、  
 機械システム工学名6名/6名中、情報工学名14名/14名中、ロボット・メカトロニクスシステム3名/3名中  
 ※I専攻：論文不合格者1名を含む 計 50名/53名中

今後の大学院カリキュラム等の改善に期待するものはなんですか(複数回答可)	回答数(人)	%
①開講科目を増やしさらに充実してほしい	9	12.5%
②英語など語学力を強化する開講科目がほしい	13	18.1%
③数学、物理、化学など自然科学系の開講科目がほしい	4	5.6%
④デザイン力やチームワーク力を養う開講科目がほしい	5	6.9%
⑤各専攻に共通の開講科目を充実してほしい	9	12.5%
⑥研究より講義科目に重点をおくカリキュラム構成にしてほしい	2	2.8%
⑦講義科目より研究に重点をおくカリキュラム構成にしてほしい	30	41.7%
⑧その他(大学院に関する要望等についてに記載)	0	0%



## 2022年度 大学院修了時アンケートまとめ

回答人数：機械工学5名/5名中、電気電子工学18名/18名中、応用化学・バイオサイエンス4名/7名中、  
機械システム工学6名/6名中、情報工学14名/14名中、ロボット・メカトロニクスシステム3名/3名中

※I専攻：論文不合格者1名を含む

計 50名/53名中

講義科目の中で、分かりやすく印象に残っている科目を3つ以内で教えてください

### 機械工学

材料力学特論	1
境界層理論	2
熱力学特論	1
空気力学特論	2
Technical English	1
英語学習系の科目は印象に残っています	

### 機械システム工学

ヴィークルダイナミクス特論 I	3
ヴィークルダイナミクス特論 II	2
特許・知的財産論	2
創造的問題解決法特論 I	4
創造的問題解決法特論 II	3
ステアリングシステム開発特論	1

### 電気電子工学

電力電子(アンケート記載のまま)	1
高電界現象論	5
回路解析特論	1
ネットワークとHEMS	1
総合プロジェクト	2
光通信デバイス特論	2
通信用電子計測技術	1
照明・音響工学	1
電気磁気学特論	3
量子コンピュータ概論	2
特許・知的財産論	1
医用画像工学	2
電気電子制御特論	1

### 情報工学

スポーツ情報科学特論	2
セキュリティ応用特論	1
IoTと知能情報処理技術特論	1
特許・知的財産論	1
物理学特論B	1
ソフトウェア工学特論	2
高臨場感メディア技術	1
コンピュータ言語特論	2
文字認識特論	1
映像表現特論	1
IoT(アンケート記載のまま)	1
知的生産システム工学特論	2
インターネットセキュリティ特論	1

### 応用化学・バイオサイエンス

Technical English	1
物理学特論B	1
高分子化学特論	2
細胞生物学特論	1
生物化学特論	1
化学特論	1

### ロボット・メカトロニクスシステム

認知行動科学特論	1
メカトロニクス特論	1
健康開発システム	1

講義科目の中で、難しくほとんど理解できなかった科目を3つ以内で教えてください

### 機械工学

特許・知的財産論	1
数理科学特論	1
流体力学特論	2
特になし 各講義で理解しやすいよう、工夫が見られた 専門科目の中には難しいものもありました	

### 機械システム工学

ステアリングシステム開発特論	2
----------------	---

### 情報工学

物理学特論A	1
物理学特論(AかB不明)	1
ソフトコンピューティング特論	1
数値計算処理特論	1
AI演習	1
コンピュータグラフィックス特論	2
量子コンピュータ概論	3
映像表現特論	1
画像映像解析特論	1
ワイヤレス通信特論	1

### 電気電子工学

情報信号処理学	2
電気電子制御特論	1
家電システム工学	2
量子コンピュータ概論	2
光物性工学特論	1
特許・知的財産論	3
照明・音響工学	1

### ロボット・メカトロニクスシステム

知的情報システム	2
----------	---

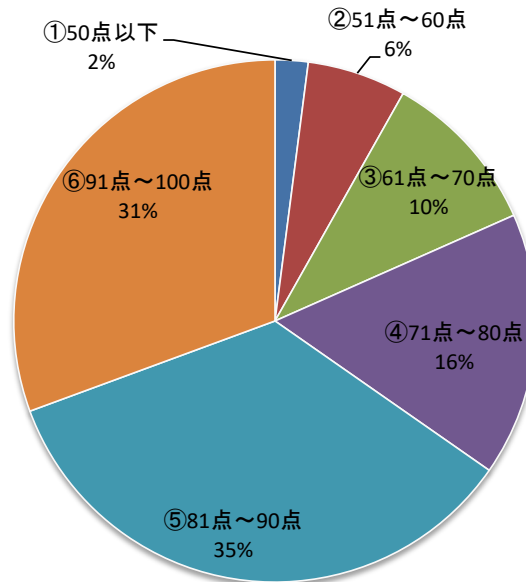
### 応用化学・バイオサイエンス

免疫化学特論	1
IoTと知能情報処理技術特論	1

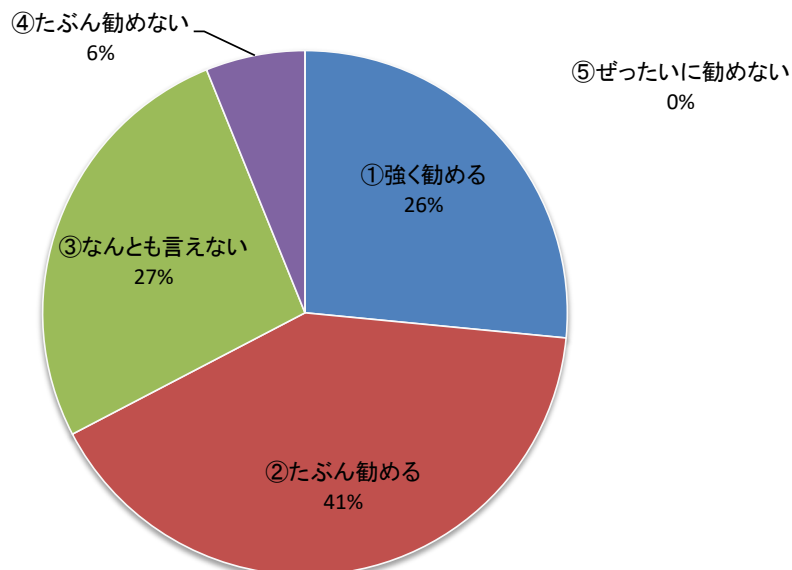
## 2022年度 大学院修了時アンケートまとめ

回答人数： 機械工学5名/5名中、電気電子工学18名/18名中、応用化学・バイオサイエンス名4名/7名中、  
 機械システム工学名6名/6名中、情報工学名14名/14名中、ロボット・メカトロニクスシステム3名/3名中  
 ※I専攻：論文不合格者1名含む 計 50名/53名中

総合的に見て、大学院に在学した満足度(100点満点)はどのくらいですか	回答数 (人)	%
①50点以下	1	2.0%
②51点～60点	3	6.1%
③61点～70点	5	10.2%
④71点～80点	8	16.3%
⑤81点～90点	17	34.7%
⑥91点～100点	15	30.6%



大学院進学を後輩へ勧めますか	回答数 (人)	%
①強く勧める	13	26.5%
②たぶん勧める	20	40.8%
③なんとも言えない	13	26.5%
④たぶん勧めない	3	6.1%
⑤ぜったいに勧めない	0	0%



## 2022年度 大学院修了時アンケートまとめ

回答人数：機械工学5名/5名中、電気電子工学18名/18名中、応用化学・バイオサイエンス名4名/7名中、  
機械システム工学名6名/6名中、情報工学名14名/14名中、ロボット・メカトロニクスシステム3名/3名中

※I専攻：論文不合格者1名分含む

計 50名/53名中

### 大学院進学を後輩へ勧める理由

#### (MM)

- 研究が好きであれば良いが、そうでなければ勧めづらいため。
- 成長できるから。
- 研究も追究できますし、研究以外のことも学べる為。

#### (ME)

- 卒論より修論で得るものの方が多い。
- 学会の参加や後輩の指導など自身の成長ができる体験をさせていただいたため。
- 私は満足できなかったが、予定を立てながらちゃんと行動できる人なら良いと思う。
- 3特、4年の卒研だけでは、自分の研究で掲げた目標を達成することが難しいから。(時間的にも)
- 学部と比較にならない、さまざまな経験が得られた。
- 生涯年収が高くなるらしい！
- 学部と比べ、やりたい研究の自由度が増えるため。
- 意欲次第。
- 大学院では自己的に学ぶ姿勢が大切になるので、意識に高く取り組むことが出来る人であれば  
すぐ役に立つ時間になると思います。

#### (MC)

- 研究の時間は増えるので、研究職等を目指す方や研究を行いたい方にすすめる。
- 院に限らず、やる気がないと進学しても意味がない。
- 今の自分に足りていない力があり、それが大学院で身につけられる力であり、かつそれを手に入れたいという強い志思がある人には、進学して後悔はないので、すすめたい。

#### (MS)

- 学部卒に比べて、人としても成長でき、専門性を高められたから
- 学力の面だけでなく、人格面においても成長できた
- 社会では学ぶことのできない特別な体験ができる  
学費以上のお金を使って自分の研究を行える
- 学費以上の経験が得られた

#### (MI)

- 研究したい事がある等の目的がちゃんとある人は、それなりに成長できるためオススメです。  
ただ、指導教員と相性が良くないと辛い思いをしやすと思います。
- 研究、学費など様々な条件があるため、人によると思うため、意欲だけではなく一度研究してから決めると  
ミスマッチが起きずよいと思う
- 就活と研究の両立が大変
- 本人の熱意、経済的に問題がなければオススメできる
- 自身の意思で決めれば良い

#### (MR)

- 研究内容に強く興味をもったなら。

## 2022年度 大学院修了時アンケートまとめ

回答人数：機械工学5名/5名中、電気電子工学18名/18名中、応用化学・バイオサイエンス4名/7名中、  
機械システム工学6名/6名中、情報工学14名/14名中、ロボット・メカトロニクスシステム3名/3名中  
※I専攻：論文不合格者1名分含む 計 50名/53名中

### 大学院に関する要望等について、自由に記入してください

(MM)

- 修論の提出日、発表日をもう少し早く知らせてほしい。
- 大変お世話になりました。ありがとうございました。

(ME)

- 総合プロジェクトは、専門性の高い大学院で自分の研究とは別の専門性を学ぶことができ、良かった。
- 後輩とのディスカッションをしている所も見かけたです。(修論発表)

(MC)

- 学内の中間発表の評価シートで教授方のコメントがひどい(一部)  
「わかりやすい説明だった」「パワポが見やすかった」など書いている教授がいた。  
こんなコメントでは、学生は成長しない。学生もタダで学びに行っていないし、お金も払っているのに、  
こんな指導の仕方では時間のムダ。  
もちろん、ちゃんと指導して頂ける教授もいるから見ならってほしい。学生の修士2年間を無駄にしないでほしい。
- 研究室に泊まることを許してほしい。  
授業があると、実験を進めにくい。  
TAのかけもち量が多い。

(MS)

- 他分野の専攻の先生との研究についてのディスカッション
- 研究活動が就職活動に直結するようなシステムが欲しい

(MI)

回答なし

(MR)

- 関係のある、興味のある講義だけを受けたい。